

# 一般入試前期A日程2日目

## 世界史

### I

#### ■出題のねらい

7世紀のイスラーム教成立から16世紀のオスマン帝国の最盛期にいたるまでの歴史を概観するリード文をもとに、基本的事項の知識を問いました。イスラーム史からはウマイヤ朝やオスマン帝国、ヨーロッパ史からは、フランク王国や十字軍などから出題しました。

#### ■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題は1、3、4、5、7、9です。正答率が低かった（20%以下）問題はありませんでした。

各問題の解説は以下の通りです。

大問	解答番号	正解	解説
I	1	④	①フィルドウシー。 ②ラシード=アッディーン。 ③タバリー。
	2	③	ササン朝を破ったのではなくフランク王国に敗れた。
	3	③	①ネストリウス派ではなくアタナシウス派。 ②メロヴィング朝ではなくカロリング朝。 ④トルデシリャス条約ではなくメルセン条約。
	4	②	ガズナ朝はアフガニスタンを拠点とするトルコ系王朝。マリンディはアフリカ東岸の港市。
	5	①	アメアリ1世はテューダー朝のイギリス女王。 イプレヴェザの海戦は1538年。
	6	②	b マッツイーニではなくガリバルディ。
	7	①	a 1099年（第1回十字軍による）→b 第3回十字軍→c 1204年（第4回十字軍による）
	8	④	①『神の国』ではなく『神学大全』。 ②実在論ではなく唯名論。 ③イギリスではなくイタリア。
	9	④	ウセリム1世は在位1512～1520年。 エメフメト2世はコンスタンティノープルを攻略してビザンツ帝国を滅ぼした。

## II

### ■出題のねらい

アジア諸地域の動揺というテーマのもと、(A) オスマン帝国の衰退、(B) ムガル帝国の滅亡の2つのリード文を設定し、基本的事項を中心に問いました。東南アジアの植民地化に関する問題では、地図を用いて出題しました。

### ■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題は12、15、17、18です。正答率が低かった（20%以下）問題は11、16です。

各問題の解説は以下の通りです。

大問	解答番号	正解	解説
II	10	①	②1856年のパリ条約。 ③ベルリン条約。 ④サン=ステファノ条約やベルリン条約。
	11	②	b シナイ半島ではなくシリア。
	12	①	文字改革はトルコ共和国で進められた改革の一つ。 アブデュルハミト2世は在位1876～1909年。
	13	④	<b>アイタリア</b> =トルコ戦争は1911～12年。 <b>イボスニア・ヘルツェゴヴィナ</b> は、青年トルコ革命に乗じたオーストリアによって併合された。
	14	③	①オランダではなくフランス。 ②インド南部ではなくインド西部。 ④イギリスがインドで実施した地稅徴収制度はザミンダーリー制やライヤットワーリー制。
	15	②	<b>ウラージプート</b> はインド中西部の戦士カースト集団。 <b>エイギリス東インド会社</b> の貿易独占権廃止は1813年。
	16	④	b 1885年→ c 1905年→ a 1919年
	17	①	Xはタイ、Yはマレー半島。 b ビルマ。
18	③	黄埔条約ではなく天津条約。	

### III

#### ■出題のねらい

ロシア史を出題しました。リード文では17世紀のロマノフ朝の成立から20世紀末のソ連解体までを述べ、近世から現代にいたるロシアの歴史を概観しました。ナポレオンとの戦いに関しては、ライプツィヒの戦い・ワーテルローの戦いについて地図を用いて出題しました。

#### ■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題は19、22、23、24、27です。正答率が低かった（20%以下）問題は20、26です。

各問題の解説は以下の通りです。

大問	解答番号	正解	解説
III	19	⑦	アレクサンドル1世は神聖同盟を提唱。
	20	①	自由主義者ウイッテは1905年に首相に登用された。ストルイピンはウイッテ解任後に首相となり、ミール解体などの改革を進めた。
	21	⑩	スターリンは一国社会主義論を主張。世界革命論はトロツキーらが主張。
	22	④	1939年からソ連=フィンランド戦争（冬戦争）が始まった。
	23	⑤	コミンテルンは1943年に解散された。コメコン解消は1991年。
	24	③	ペレストロイカを進めたのはゴルバチョフ。
	25	②	①③エカチェリーナ2世。 ④アレクサンドル2世。
	26	③	b ワーテルローの戦い（X）。Yはアウステルリッツの戦い。
	27	②	b イギリスではなくドイツ。
	28	①	a 1917年3月（ロシア暦では2月）→b 1917年4月→c 1917年11月（ロシア暦では10月）
	29	④	①スターリンではなくチャーチル。 ②トルーマンではなくフランクリン=ローズヴェルト。 ③テヘラン会談ではなくヤルタ会談。
	30	①	②ゴルバチョフ。 ③ブレジネフ。 ④ロシアが初めて正式にG8サミットに参加したのはソ連崩壊後の1997年。

# IV

## ■出題のねらい

世界史で学習する「美術」をキーワードとして取り上げ、古代ギリシアの建築や美術から、古代中国の文化、ヨーロッパの教会建築、ユネスコの世界遺産など、時代や地域をこえて幅広く問いました。各問題は、年表や地図を用いるなど、多様な形式で出題しました。

## ■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題は31、33、34、35、36、37、38、40です。正答率が低かった（20%以下）問題はありませんでした。

各問題の解説は以下の通りです。

大問	解答番号	正解	解説
IV	31	①	アアゴラはポリス中心部の広場。 イパルテノン神殿はアテネに造営された。
	32	②	b 黒色磨研土器（黒陶）はヘレニズム時代より前の竜山文化（前3千年紀）の特徴。
	33	④	①アショーカ王ではなくチャンドラグプタ 1 世。 ②これはクシャーナ朝。 ③義浄ではなく法顕。
	34	②	a 280年→ c 420年→ b 556年
	35	③	靖康の変は1126～27年。
	36	②	X グラナダ（ウ）。Y カイロ。Z イスファハーン（エ）。
	37	③	オモザイク壁画はビザンツ様式の特徴。 カイトリアのピサ大聖堂はロマネスク様式を代表する聖堂。
	38	③	①デューラーではなくブルネレスキ。 ②ボッカチオではなくボッティチェリ。 ④ミケランジェロではなくレオナルド=ダ=ヴィンチ。
	39	①	1830年の七月革命が題材となっている。 ②フランス革命中の1793年。 ③1848年の二月革命。 ④1852年。
	40	④	①国連難民高等弁務官事務所。 ②国連環境計画。 ③国連貿易開発会議。